

## 日英孤独担当大臣会合 共同メッセージ（2021年6月17日）

私たち、日本国の孤独・孤立対策担当大臣と英国の孤独担当大臣は、英国の孤独認知週間中の2021年6月17日に、オンラインを通じて、日英孤独担当大臣会合を初開催しました。

日英両国は、孤独問題が重要な国際課題であると認識しています。英国では、2018年に孤独戦略を定め、その後毎年、年次報告を公表しています。日本では、孤独・孤立対策担当大臣を新たに置き、孤独・孤立の実態把握と政策の策定に着手しています。世界的な新型コロナウイルス感染症の感染拡大は孤独の問題をより深刻化させ、人々の「絆」が鍵であることを共有しました。

日英両国は、対話し知見を共有することで、孤独対策で世界をリードしていきます。孤独は誰にでも起こりうるものであり、孤独にまつわるスティグマは克服されなければなりません。家族、友人、隣人、そして支えてくれる方々との「絆」は孤独を克服するための大変重要な一歩であり、日英両国は政策によってこれを強く後押しします。

日英両国は、以下三点について、孤独対策に関する二国間協力を推進することに合意しました。

### 1 日英二国間会合の定期開催

大臣級及び事務方会合を定期的に開催し、両国の知見を共有し、更なる協力を推進します。

### 2 実態把握と政策に関する知見の共有

孤独対策を推進するためには、全国レベルでの実態把握が重要です。日英両国は、孤独が及ぼす影響、政策と測定手法、そして行政、学界その他関係団体間で得た知見について、データや情報を共有します。

### 3 日英両国及び世界への取組の発信

日英両国は、孤独を経験した人々の視点に常に立って、孤独に対する世界の意識を高める取組をしていきます。

日本  
孤独・孤立対策担当大臣  
坂本哲志

英国  
市民社会・孤独担当大臣  
ダイアナ・バラン